

教科	数学	科目	数学 A
年次	1 年次	単位数	2
教科書	「新編 数学 A」数研出版株式会社		
副教材	「新課程 教科書傍用 3TRIAL 数学 I+A」数研出版株式会社		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数や確率を「地道に」または「効率よく」求める力をつける。 ・図形の特徴を把握し、平面図形に関する諸公式を活用できるようにする。 ・「整数」と人間の活動の関わりを理解する。 		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初 ～前期中間考査	p.68 -p.93	【第 2 章 図形の性質】 <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の辺の比 ・三角形の内心・外心・重心 ・チェバの定理・メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・円と直線 ・2つの円 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形に関する諸公式を活用できるようになる。 ・与えられた条件から図形的な特徴を見出し、使う公式や性質を判断できるようになる。 	日々の演習 確認テスト 定期考査
～前期期末考査	p.6 -p.36	【第 1 章 場合の数と確率】 ～第 1 節 場合の数～ <ul style="list-style-type: none"> ・集合と要素の個数 ・順列 ・組合せ 	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の概念を理解し、要素の個数を求められるようになる。 ・順列と組合せの違いを正しく理解し、場合の数を求められるようになる。 	日々の演習 確認テスト 定期考査
～後期中間考査	p.39 -p.63	【第 1 章 場合の数と確率】 ～第 2 節 確率～ <ul style="list-style-type: none"> ・確率の基本性質 ・独立な試行と確率 ・条件付き確率 ・期待値 	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の基本的な性質を活用できるようになる。 ・独立な試行や反復試行の確率を求めることができるようになる。 ・条件付き確率、期待値を求め、その結果を考察できるようになる。 	日々の演習 確認テスト 定期考査
～後期期末考査	p.116 -p.143	【第 3 章 数学と人間の活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・ユークリッドの互除法 ・1 次不定方程式 ・記数法 	<ul style="list-style-type: none"> ・約数と倍数、素数と素因数分解、記数法について理解し、基本的な計算ができるようになる。 ・1 次不定方程式を解くことができるようになる。 	日々の演習 確認テスト 定期考査

～年度末		1 年間の総復習	数学 A で学習した内容を 復習し、既習の問題を解く ことができるようになる。	日々の演習 確認テスト
------	--	----------	---	----------------